

第53回京都大学宇治キャンパス産学交流会

< 化学研究所 >

◆日時 2025年2月17日(月) 13:30~17:00

◆場所 共同研究棟(化研) 1階 大セミナー室



京都大学宇治キャンパスにある4つの研究所(エネルギー理工学、生存圏、防災、化学)との産学連携や参加企業間の業種の垣根を越えた連携を目的に開催しています。今回は化学研究所との交流会です。参加は無料です。

《第1部:講演会》

◇ 開会のご挨拶 13:30~13:40

◇ 研究シーズ (質疑応答含む) 13:40~15:30

「自然界に学ぶエネルギー変換反応の突破口」

京都大学 化学研究所 教授 大木 靖弘 氏

非常に安定で「不活性ガス」とも呼ばれる窒素(N₂)や二酸化炭素(CO₂)を他の物質へ変換する反応は、困難ですが生命活動に欠かせません。自然界では、進化の過程で淘汰を免れてきた技術を用い、困難な反応を実現することから、我々はその謎を解き、エネルギーの有効利用に結びつけることを目指しています。本講演ではこの研究について紹介します。



「分子レベルのモノづくり『有機合成』」

京都大学 化学研究所 教授 大宮 寛久 氏

私たちが豊かに生き続けるために必要不可欠な物質である医薬品や機能性材料の多くは、有機分子から成り立っています。これら日常生活と密接に関わっている「価値のある有機分子」はさまざまな形・大きさの有機分子を化学反応によって組み立てていく、分子レベルのモノづくり「有機合成」によって、生み出されてきました。本講演では、創薬・生命科学研究に貢献する有機合成の魅力・最新研究について紹介します。

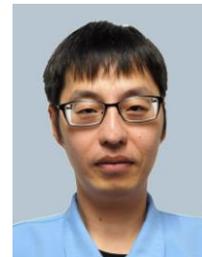


◇ 関連企業紹介 (質疑応答含む) 15:40~16:20

「赤外分光法(IR)で探る触媒と高分子の世界」

株式会社東ソー分析センター 四日市事業部 解析 G 津川 直矢 氏

株式会社東ソー分析センターでは、受託分析を通じて皆様の研究活動をサポートしています。本講演では、弊社が保有する技術の中から、赤外分光法(IR)を用いた触媒の活性点解析の事例と高分子材料のナノスケール構造解析の事例を紹介します。



◇ 施設見学 (先生方のご説明による研究室の見学) 16:20~17:00

《第2部:懇親会》 参加費制 レストランきはだ(宇治キャンパス内) 17:20~19:00

- ◆主催 京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業 21
- ◆共催 京都大学化学研究所・京都やましろ企業オンリーワン倶楽部
- ◆協力 宇治市

参加申込書

第53回京都大学宇治キャンパス産学交流会(2月17日(月)開催)

【WEB 申し込み】 京都府中小企業技術センターホームページ TOP ページ
「第53回京都大学宇治キャンパス産学交流会」より

【E-mail/FAX での申し込み】

E-mail: keihanna@kptc.jp / FAX:0774-66-7546

【締め切り】 2月14日(金)(先着50名)

【参加費】 第1部:無料/第2部:企業連絡会員2000円・会員外5000円(講演会受付時に徴収)

*ご記入いただいた個人情報は開催者で共有するとともにイベント等のご案内に利用することがあります

会社名				
所在地	〒			
氏名	所属	電話番号	E-mail	参加(○印)
				1部・2部
				1部・2部
				1部・2部

← 交流会で配付する参加者名簿(所属・氏名)への掲載を希望されない場合はチェック をお願いします。

●公共交通機関の利用にご協力ください(お車ご利用の際は 南門(守衛室)での駐車手続きが必要です)

